

『プロデューサー……』



『ん?』

『最近まのって事務所きてる?』

『あーそれなんだけど、何か聞いてないか? 電話しても全然出てくれなくてな』



『んー……少し前の事なんだけど 変な人に絡まれてね』

『え!?!』

『いや、それと関係あるかは わからないんだけどね』

『レッスンの帰りにいきなり まのの前で主下座しはじめてね』

『ま、まのさんですよよね?! あ、あの、ずっとファンで!! 一生に一度でいいんです!! もしよろしければ僕と…… 手をつないで歩いてくれませんか!!』



『あたしはとめたんだけど…… あの子優しいから……』



まの…… いこう……

『レッスンしたまのは 初めてで、ちよっと、緊張してしまいましたが……』



『わたしでよければ おちからになりますよ?』

『それからあんまり見かけなく なっちゃったからさ 気のせいだといんだけどね』



まの



『まのちゃん、
ケータイなってるよ』

『いいんですよ♡
どうせプロデューサーさんですから
今はおじさんのおちんちん
ご奉仕で忙しいんです♡』

あ...
あ...

『まのちゃんはほんとうにおりこうさんだね
毎日学校行く前にはようフェラも
できるし、こうして帰りもちゃんと
おじさんの家に寄ってくれるんだからね』

『最近じゃ学校でも
おじさんの事考えてムラムラしてるんです♡
今日は金曜日ですから、いっぱい可愛がってください♡』



おめでとう♡

スロロ...

ズズズ

ズズズ

ビーン

あー♡

ハーン♡

ん♡

あ♡

オオオ!

「あーい♡
子種汁のぼつてきたよ
まのちゃん、おじさんの子供
産んでくれえ!!」

「はい♡
ニンシンしたいです♡
あたしおじさんの
赤ちゃん産みます♡」

ズズズ

ズズズ

ズズズ









